

県外派遣報告書

審判員名	小原 宏太	所属	高体連
大会名	平成29年度 関東ブロック男性審判講習会		
期間	平成29年7月8日(土)～9日(日)		
会場	つくば秀英高等学校		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
7月8日(土)	開講式、ルールテスト、フィットネステスト	つくば秀英高等学校	
7月9日(日)	実技、閉講式	つくば秀英高等学校	
会議 講義 内容			
<p>【開講式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県 審査委員長 小林哲夫氏 暑い中ではあるが自分のベストを発揮してほしい。周りには審査委員がいるが、「うまくやらなくちゃ」など思う必要はない。普段どおりの自分をだすように。 ・関東バスケットボール協会審判委員長 渡邊 整氏 とても暑い中での2日間となる。体調管理を万全に行い、もっている力を存分に出してほしい。ただし命が一番大事。まずいなと感じたらリタイヤしても構わない。 <p>【閉講式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県 審査委員長 小林哲夫氏 暑い中、本当にご苦労様でした。結果に関係なく、今後も研鑽を積んでいってほしい。若手の審判が何人か参加しているが、もっと若さを前面に出していくことに期待している。 ・関東バスケットボール協会審判委員長 渡邊 整氏 暑い中、過酷な試験を無事に終えることができ、ほっとしている。今回一次審査を通過した者はぜひ9月におこなわれる二次審査に向けて準備をしA級取得につなげてほしい。また、残念ながら一次不合格の場合でも今回の経験を次につなげ、来年こそは！との想いで頑張ってもらいたい。 			
実技			
担当試合	期 日	7月9日(日)	男子
	対戦カード	前橋育英 VS 文星芸附	副審
	相手審判	林原 潤 (千葉)	
ミーティング内容		主任 河野 仁氏(山梨県)	
<p>今後に向けての改善点や取り組んでもらいたいこととして、以下のようなアドバイスを頂いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターハイや関東大会で実現してもおかしくないゲームをおさめきれたらどうか。最後のシーンでファウルを取り上げる、取り上げないどちらにしても公式戦であったらより厳しい戦いになってくるに違いない。39分間仮に完璧に試合を進めていったとしても、最後のプレーが最も大事になってくる。 ・漠然と見ているようにみえる。姿勢であったり、審判としての存在感をもっと出すように。プレーを見に行くのがやや遅い。もっと危機感を持って先にプレーを待ち受けるように。 ・遠い位置からのコール、確認不足のコールがいくつかあった。スクリーンのファウルはより慎重に見極めて判定を下さなくてはならない。 			
全体の感想			
<p>他県の審判員の方々のコートでの姿、それに対する審査員の方々のコメント等、学ぶ事が多い充実した2日間となりました。今回の講習会は初めての参加ではありましたが、ランクアップへの強い意欲を持って臨みました。反省で頂いた、立ち姿やコールをした際の姿がベンチ・観客・プレイヤーに説得力と存在感につながるということをさらに学びました。今後、ルールの勉強、コート上で見られているという意識を強め、わかりやすい審判になるよう研鑽を積んでいきたいと思えます。</p> <p>最後になりましたが、開催権の茨城県の皆様には2日間大変お世話になりました。受講生として集中して気持ちよく臨むことができました。この場をお借りして御礼申し上げます。また、今回推薦していただきました埼玉県協会の皆様にも改めた御礼を申し上げます。沢山の御支援を頂きコートに立つことができましたことを感謝致します。今回の審査会では残念な結果となってしまいました、更に上のランク・審判員になるために必要なことを多く学びました。来年こそはという気持ちで今後も県内の行事に精一杯取り組んでいきたいと思えます。</p>			